

終始、楽しい（会山行Cパーティ）

## 越後 三国川栃ノ木沢コブシ沢

当初の目標は檜倉沢、しかし1泊2日での集中は難しいのではないかと…ということでやはりコブシ沢に。

### 9月3日（土）：晴れ

今回の僕は会山行担当だ。担当は4人いるはずなのに、諸事情あって朝のミーティングには僕しかいない…まあ問題はないのでささっと終わらせ、我らCパーティが一番に歩き始める。

去年丹後沢に行ったので途中までは覚えていた。少し長めの林道歩きを終え、入渓するとすぐに淵が現れる。泳ぎ突破は難しいので左岸をへつり、後続には水流にロープを出す。去年ここでジタバタした分、今回はサクッといけた。それにしてもこの時間に水に入るのは冷たそう。二人も寒そうにしていた。

丹後沢出合を過ぎると川幅が急激に狭まりゴルジュとなる。最初の滝は左から巻く。易しい。もう二つ滝を越すと金掛沢出合となる。細い滝だがわかりやすい。滝をまた越すと短い淵を持った3mCS滝が出てくる。もしかしたら登れそうだったが、今回は時間短縮のため取り付かずに巻くことにする。左岸から大きめに巻いて懸垂で降りる。懸垂用の残置スリングもあった。



次に関門となった5m滝が出てきた。少し水に浸かって取り付きに這

い上がるが、手がなくて少し辛い。ここからチムニーで上がれるが、ちょっと滑りそうで怖いので空荷で登った。後の二人は普通に背負ってきた。特に問題なくサクサク滝を越えていくとコウガイ沢出合に着いた。足並みが揃っているのだからかなり順調だ。

ここからも面倒な滝なども特になく、楽しい滝群が続く。ただ後半は巻いたりした。それでも大高巻きにもならず、特に印象はない。なんだかこう書くとつまらない沢に聞こえるが、適度な難度で楽しいんです。かなり標高が上がってきたと思いながら進むと20m滝が出てくる。これは右から巻く。時間もかからなかった。地形図の滝マークの滝も越えて14時頃。かなり順調である。

計画書では少し手前でもう幕となっているはずだった。最初から大滝を越えて泊まる気だったのは栗原さんだけで、棚橋さんは「え、越えるの?」と途中までその考えを知らなかった。僕は「いやあ最初からこちら辺に泊まるってなってたじゃないですか」とか言ってしまった。棚橋さんが「そんなことないよー」と言うので自分が作った計画書を見たら、確かに違っていた。順調すぎて勘違いしてしまった。ここまでまともな幕場適地はなかったがそろそろ探さないといけなないので荷物を置いて探す。あたりを見ても栗原さんが勧めるそれなりに平らな岩しかない。しかしそこに寝ると寝がえり二回したら5mは落ちてしまう…流石に嫌だったのでかなり先まで見てくることにする。

### 【日程】

2016年9月3日（土）  
～9月4日（日）

### 【メンバー】

萩原（L）、栗原、棚橋

【グレード】 3級

【地形図】 兎岳

【記】 萩原



すると小滝を2つ越えたところに3人なら快適に寝られそうな場所を見つけた。周りを見たら三俣のすぐ手前。かなり高いところまで上がってきたなあ。しかしよかった、今日も楽しい宴会、快適な睡眠を得られそうだ。

#### 9月4日(日) : 晴れ

翌日はもう稜線に出るだけ。昨日の到着が早かったので朝もダラダラしても時間が余る。かなり頂上で待つことになるが7時出発だ。山頂には9時半着で一番乗り。三角点がある山頂から外れたところでひと眠りし、皆の到着を待った。

下山はなぜか今年一番の暑さ！ペースもばらばらになってパーティごちゃ混ぜ。皆熱中症になるのではないかといった感じだ。沢や暑さに弱い。駐車場に着いたら川に降りて水浴び。ずっと浸かっているけど寒くない程、気温、晴天に恵まれた会山行となった。

#### 【行程】

9/3 十字峡(6:25)～取水堰(7:35)～コウガイ沢出合(10:50)～三俣(C1)(14:30)

9/4 C1(7:00)～稜線(8:40)～日向山山頂(9:30/?)～十字峡(13:20)



5m滝 チムニー



CS3m登れたか

